

平成30年度第2回横浜国立大学校友会評議員会議事要旨

(議事要旨確認記名・押印欄)

氏名 永井 圭二 確認印



日 時：平成30年10月22日(月) 17時40分～18時50分

場 所：本部棟3階 第2会議室

出席者：会長 杉田亮毅(理事)

評議員 高木まさき、永井圭二、原俊雄、泉宏之、上ノ山周、門井富士夫、
宮田芳文、井上誠一、本田輝

欠席者：中村文彦、箱田則雄、杉山久仁子、渡邊正義、佐土原聡(以上、委任状提出)
根上生也

監 事：出席者 長崎駿二郎、寺西昭、平田博教

欠席者 井村順子

【定足数確認等】

議事に先立ち、会則第24条第3項に基づき、本評議員会は評議員会開催のための定足数を満たしている旨(定員15名、定足数8名、出席+委任状14名)の報告が宮崎事務局長からなされた。

続いて、会則第24条第1項に基づき、評議員会の議長として高木まさき評議員が選任され、議事要旨の署名等は、評議員会運営規程第6条第2項に基づき、永井圭二評議員が指名された。

【議事要旨確認】

平成30年度第1回校友会評議員会議事要旨(資料1)について確認依頼を行った。

【議事】

1. 報告事項

(1) 横国Day関係

宮崎事務局長から、9月29日(土)に開催された旨報告があった。

また、中村博之横国Day実行委員長(理事)から交流会への参加、さまざまな支援に対して謝辞があった。

(2) YNU横浜経営者の会について

宮崎事務局長から、第3回目を12月7日(金)に参加企業26社により開催する旨報告があった。

2. 大学の近況報告

(1) YNU基金について

大門理事から資料3-1、3-2により、横浜国立大学基金等の状況及び今後の取り組み(執行部による企業等への訪問、給与からの控除による寄附等)について報告があった。

(2) ファンドレイザー雇用形態等について

大門理事から口頭により、寄附を専門に集めるファンドレイザーについて他大学の状況及び本学の今後の方針について報告があった。

(3) 学長報告について

長谷部学長から口頭により下記3点について報告があった。

1) 大学改革について

少子化に伴う大学進学者の減少を見据えて、統合あるいは連携を模索している。

2) 研究面について

科学技術振興機構のダイバーシティ研究環境実現イニシアティブに採択された。
大成建設、帝人、地元tvkコミュニケーションズとの連携事業。

3) 国際面について

①タイムズの世界大学ランキングが発表となった。教育面、外部資金の面では評価が上がっているが、研究面が上がっていない。

②理工系大学院生のダブルディグリーを促進するコンソーシアムに加盟して推進していく。

3. 審議事項等

(1) 平成30年度横浜国立大学校友会修正予算(案)及び執行(見込)状況について

宮崎事務局長から、資料4-1、4-2により修正予算案並びに事業計画進捗状況について説明があり、修正予算(案)について全会一致で原案どおり決議された。

(2) その他

大門理事から口頭により、国立美術館、東京国立博物館キャンパスメンバーズについて説明があり、学内における広報活動を積極的におこなった結果徐々に利用者が増えている旨報告があった。

4. その他質疑応答

①次年度以降の予算について校友会としてのビジョンはどうなっているか

会長から次年度の予算作成にあたっては、以下の3点に重点を置いて案を作成するよう事務局へ指示を出している旨説明があった。

- ・大学のレベルを上げるための大学支援
- ・学生の教育面、部活動を含む学生生活への支援
- ・大学のステータスを高める事業

②上記の説明を踏まえて次のような意見が出された。

- ・地元横浜の企業への就職支援について
- ・東工大の大型モニターによるインターンシップ情報等の提供について
- ・横浜経営者の会による講座について
- ・神奈川県との包括連携協定による「神奈川未来学」について

【次回開催日】

次回開催日は平成31年3月8日(金)17時40分～

会場は、本部棟3階第2会議室を予定。

以上